

平成22年2月期

第2四半期決算説明資料

(IR資料)

株式会社 昂

JASDAQ

(コード 9778)



会社概要

平成21年8月31日現在

- ・ 商 号 株式会社 昴 (SUBARU CO ., LTD)
- ・ 代 表 者 西村 道子
- ・ 設 立 昭和47年7月17日 (ジャスダック上場日 平成7年12月20日)
- ・ 本 社 〒892-0846 鹿児島市加治屋町9番1号
- ・ 従 業 員 数 342名
- ・ 資 本 金 9億9,075万円
- ・ 主な事業内容 幼児、小中学生、高校生に対する学習指導
- ・ 発行済株式数 6,935,761株 (除く自己株式 6,284,120株)
- ・ 単元株式数 1,000株
- ・ 株 主 数 737名
- ・ 教 室 数 75教室 (鹿児島県40・宮崎県17・熊本県10・福岡県8)

1. 第2四半期決算概況

当社を取り巻く環境は、学童数の減少に歯止めがかからない中で、同業他社との競合は激しいまま推移いたしました。加えて世界的な経済環境、雇用の悪化により、消費抑制意識が一段と高まりました。その結果、当第2四半期の売上高は、1,769百万円（前年比△57百万円）と3.2%の減収となりました。

利益面においては、人員の自然減もあり人件費を中心として売上原価の削減が寄与したため、減収幅を経費削減が吸収した結果、収益はやや改善されましたが、第2四半期は経常損失75百万円となりました。

新たな教室展開といたしましては、熊本に大津校、宮崎市に個別指導大塚教室の2校を開設いたしました。また今後の収益性を考慮して、熊本市の長嶺校を閉鎖いたしました。

①第2四半期損益計算書

（単位：百万円、単位未満切捨）

#	当 期	前 期	増 減 額	増減率 (%)	前 期 末
売 上 高	1,769	1,827	△57	△3.2	3,900
売 上 原 価	1,524	1,603	△78	△4.9	3,091
売 上 総 利 益	244	223	20	9.3	809
販売費及び一般管理費	305	314	△9	△2.9	600
営 業 利 益	△60	△90	29	—	209
経 常 利 益	△75	△109	33	—	170
当 期 純 利 益	△5	△34	28	—	125

②第2四半期貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切捨)

#	当 期	前 期	増 減	前期末
流 動 資 産	656	589	66	497
固 定 資 産	8,046	8,278	△231	8,114
流 動 負 債	3,165	3,222	△56	2,650
固 定 負 債	1,979	2,132	△153	2,325
純 資 産	3,558	3,512	45	3,635
総 資 産	8,702	8,867	△164	8,611

繰延税金資産が 1,120 百万円増加いたしました

長期借入金が 190 百万円減少しております

利益剰余金が 79 百万円増加しました

③第2四半期キャッシュフロー計算書

(単位：百万円、単位未満切捨)

#	当 期	前 期	増 減	前期末
営 業 活 動 に よ る C F	120	△29	150	172
投 資 活 動 に よ る C F	△57	75	△133	61
財 務 活 動 に よ る C F	△24	△18	△5	△256
現 金 及 び 現 金 同 等 物	304	315	△10	265

2. 売上高

当第2四半期は、集団教室1校、個別指導教室1教室の2校を開設いたしました。宮崎を除く3県（鹿児島、熊本、福岡）が前年を下回り減収となりました。

とりわけ、当社の牽引力である鹿児島市内教室の減収は当期の業績に影響を及ぼしました。

このような中、個別指導部および高等部は小幅ながら、着実に売上高を伸ばしており、細かなニーズへの対応をさらにすすめてシェア、ボリュームともに増加を図ってまいります。

なお、合宿事業においては世界的な感染拡大を見せる新型インフルエンザの影響を受け、一部の地域においては参加を見合わせざるを得ない事態となり、当社事業に影響を及ぼすこととなりました。

① 部門別売上高比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

#		当 期	前 期	増 減	前 期 末
集 団	小 学 部	411	441	△29	923
	中 学 部	1,076	1,108	△32	2,471
	高 等 部	74	69	5	140
個 別 指 導		122	121	1	268
合 宿 な ど		83	86	△2	96
合 計		1,769	1,827	△57	3,900

② 地域別売上高およびシェア比較

#	当 期		前 期		増 減		前期末	
	売上高	シェア	売上高	シェア	売上高	シェア	売上高	シェア
鹿 児 島	1,014 百万円	57.3%	1,053 百万円	57.7%	△39 百万円	△3.7%	2,281 百万円	58.5%
宮 崎	424 百万円	24.0%	424 百万円	23.2%	0	0	883 百万円	22.6%
熊 本	192 百万円	10.9%	199 百万円	10.9%	△7 百万円	△3.5%	421 百万円	10.8%
福 岡	138 百万円	7.8%	149 百万円	8.2%	△10 百万円	△7.3%	314 百万円	8.1%
合 計	1,769 百万円	100.0%	1,827 百万円	100.0%	△57 百万円	△3.2%	3,900 百万円	100%

3. 費用

当第2四半期の売上原価は、前年同期比78百万円の減少(△4.9%)となりました。これは社員講師の減少をはじめとする人件費の削減(△53百万円)が大きく寄与し、売上原価率も1.6%減少いたしました。

販売費及び一般管理費につきましても、前年同期比9百万円(△2.9%)の減少となりました。主な要因といたしましては、広告宣伝費、人件費および支払手数料が減少したためであります。

①売上原価比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

#	当 期	前 期	増 減	増減率	前期末
売 上 原 価	1,524	1,603	△78	△ 4.9%	3,091
教 材 費	56	50	5	10.7%	114
人 件 費	970	1,023	△53	△5.2%	1,964
教 室 経 費	498	528	△30	△5.8%	1,012
合 宿 費	54	60	△5	△9.7%	67
売 上 原 価 率	86.2%	87.8%	△1.6%	—	79.2%
売 上 高 人 件 費 率	54.8%	56.0%	△1.2%	—	50.4%

②販売費及び一般管理費比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

#	当 期	前 期	増 減	増減率	前期末
販売費及び一般管理費	305	314	△9	△2.9%	600
広告宣伝費	123	125	△2	△1.6%	234
人 件 費	108	112	△3	△3.1%	214
本 社 経 費	73	76	△3	△4.6%	151
売上高販管費率	17.2%	17.2%	0.0%	—	15.4%
売上高広告宣伝費率	7.0%	6.9%	0.1%	—	6.0%

③教室講師数比較 (期中平均)

(人)

#	当 期	前 期	増 減	前期末
講 師				
社 員	285	311	△26	304
専 任	20	21	△1	21
常 任	287	289	△2	306

※ 専任(契約社員)、常任(学生その他)

4. 生徒数

当第2四半期は、世界的経済環境の悪化、雇用、所得に対する不安が増幅する環境下、学校外教育費も抑制され入学者数は低調なものとなり、期中の生徒数は前年実績を385人下回りました。特に主力の小中学部の不振が響き、期中平均で前年比△447人と大変厳しい結果となりました。

このような環境下ではありましたが高等部、個別指導部におきましては、前年を上回る実績を確保し、さらに小学生の全学年を対象とした「キッズくらぶ」は、昨年を上回り、堅調な動向となりました。

少子化の進展、さらには所得、雇用両面の消費意欲悪化要因により経営環境はこれまでも増して厳しい状況となることが想定されますが、当社といたしましては、生徒の成績を上げ、志望校に合格できる指導業務に注力してまいります。

① 部門別生徒数比較（期中平均生徒数）

（人）

#		当 期	前 期	増 減	前期末
集 団	小 学 部	2,613	2,814	△201	3,018
	※（キッズ）	(514)	(449)	(+65)	(465)
	中 学 部	5,109	5,355	△246	5,909
	高 等 部	475	419	56	464
個 別 指 導 部		748	741	7	809
合 計		8,945	9,330	△385	10,200

※小学部の数値、合計にはキッズは含んでいません。

② 部門別生徒数及び売上高構成比

#		当 期		前 期	
		生徒数	売上高	生徒数	売上高
集 団	小 学 部	29.2%	23.3%	30.2%	24.2%
	中 学 部	57.1%	60.9%	57.4%	60.7%
	高 等 部	5.3%	4.2%	4.5%	3.8%
個 別 指 導 部		8.4%	6.9%	7.9%	6.6%
合 宿 収 入 な ど		—	4.7%	—	4.7%

5. 主な事業活動および今後の予定

(1) 公教育との連携

当社は宮崎県の綾町教育委員会より要請を受け、昨年の夏休み・冬休みに中学3年生を対象とした特別講座に講師を派遣いたしました。この綾町の試みは、公教育が取り組んでいる学力向上策、特に学習塾との連携の例として文部科学省から全国の教育委員会へも紹介されました。

受講生から好評を得て、今年度は通常学期の5月から指導学年も中1～中3に拡大して実施してほしいとのご要望があり、綾町で年間予算も組んでいただきました。今年の2学期は綾中全生徒の47%にあたる115名が受講しています。

地域の学力向上のため当社が「できること」「すべきこと」を認識することは勿論、新たなビジネスモデルとしても今後このような連携の可能性を追求していく所存であります。

(2) 文化活動

当社は、「昴文化講演会」「昴旗鹿児島県少年剣道錬成大会」を通じ、豊かな感性を持った児童生徒の育成、逞しい子どもたちの育成に努め、CSRとしての社会貢献に取り組んでまいりました。

特に1991年にスタートした「昴文化講演会」は今夏で19年目、62回の開催を数え、今年は第1回目と同じ「片野坂栄子ソプラノコンサート」を実施いたしました。幼児からご年配の方まで多くの皆様から熱いご声援とご支援のお言葉をいただき、改めて豊かな人間性を育むという当社の指導の原点を確認いたしました。

また、昨年これまでの南日本美術展、東光展および二科展に付随する3つのジュニア展を統合し創設された「南日本ジュニア美術展」(主催 南日本新聞社)の特別協賛も2年目となりました。今後も学習のみならず、海老原喜之助氏、吉井淳二氏らに続く芸術家を当地より輩出する可能性を秘めた「南日本ジュニア美術展」を通じ、文化芸術的才能の発掘に寄与してまいります。

6. 主な経営指標の推移

#	当 期	前 期	前期末	前前期末
一株あたり当期純利益(円)	△ 0.83	△ 5.31	19.76	9.62
総 資 産(百万円)	8,702	8,867	8,611	8,901
純 資 産(百万円)	3,558	3,512	3,635	3,643
一株あたり純資産(円)	566.19	546.70	578.40	567.07
自 己 資 本 比 率	40.9%	39.6%	42.2%	40.9%
株主資本当期純利益率 (ROE)	—	—	3.5%	1.7%
売 上 高 経 常 利 益 率	—	—	4.4%	8.3%
総資産経常利益率 (ROA)	—	—	1.9%	3.8%

7. 平成22年2月期業績予想

当上半期においては高等部、個別指導を除き、前年実績を割り込み、減収となりました。

下半期におきましては、入試を控えた受験学年の需要増が見込まれますが、当初予想には至らないことが予想されることから、通期の業績は売上高 3,818 百万円、経常利益 152 百万円、当期純利益 125 百万円を見込んでおります。

#	22年2月期 (予想)	21年2月期	20年2月期	19年2月期	18年2月期
売上高 (百万円)	3,818	3,900	4,137	4,149	4,167
増減率 (%)	△2.1	△5.7	△0.3	△0.4	△4.5
営業利益 (百万円)	187	209	388	515	252
増減率 (%)	△10.3	△46.2	△24.5	103.8	△2.2
経常利益 (百万円)	152	170	344	488	233
増減率 (%)	△10.7	△50.6	△29.5	109.6	△5.3
当期純利益 (百万円)	125	125	61	△1,242	124
増減率 (%)	△0.4	103.6	—	—	11.1
配当金 (円)	12	12	15	15	15

以上